



結核を減らすために



結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。発症すると、せき、たん、微熱、体のだるさなど、風邪に似た症状がでます。過去の病気と思われるがちですが、今でも新しい患者が発生している重大な感染症です。早期発見・早期治療が重症化を防ぐだけでなく、周囲への感染拡大を防ぐためにも大切です。

下関市の結核の現状

山口県内では年間100人以上、下関市内では年間約30人前後の新規の結核患者が発生しています。

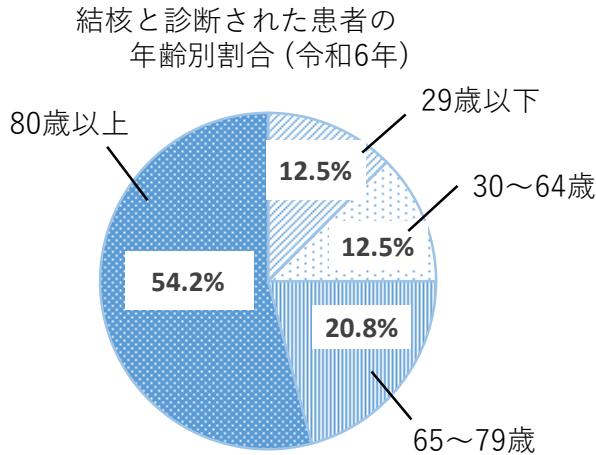
下関市における結核罹患率※は全国や山口県と比較すると、高い状況にあります。

(※ 新登録結核患者数 ÷ 人口 × 10万)

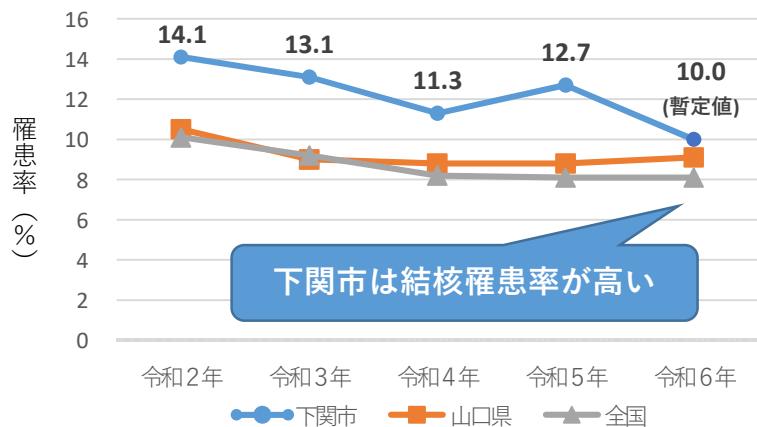
～80歳以上に多い結核！～

下関市で令和6年に発生した結核患者の年齢構成は、65歳以上が7割を占めています。特に、80歳以上の高齢者が多く、患者の約半数を占めています。

**結核の早期発見には定期的な胸部X線検査が重要です。
特に65歳以上の方は感染症法により、年に1回は検査を受ける必要があります。**



結核罹患率の年次推移

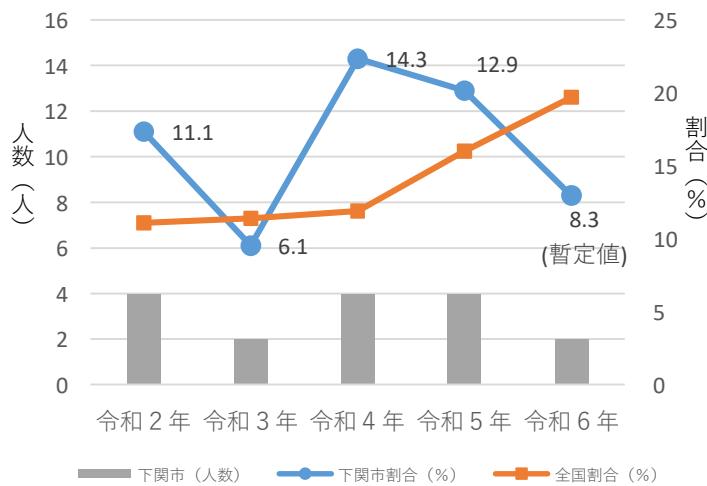


～外国出生者の結核～



新登録結核患者のうち外国出生者の割合は全国的に増加しており、下関市では、毎年約1割ほどを占めています。特に、20～30歳代の新登録結核患者のうち外国出生者の割合が高い状況です。罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられます。

新登録結核患者に占める外国出生者の年次推移



学校及び事業主等の皆様へお願ひしたいこと



シールちゃん

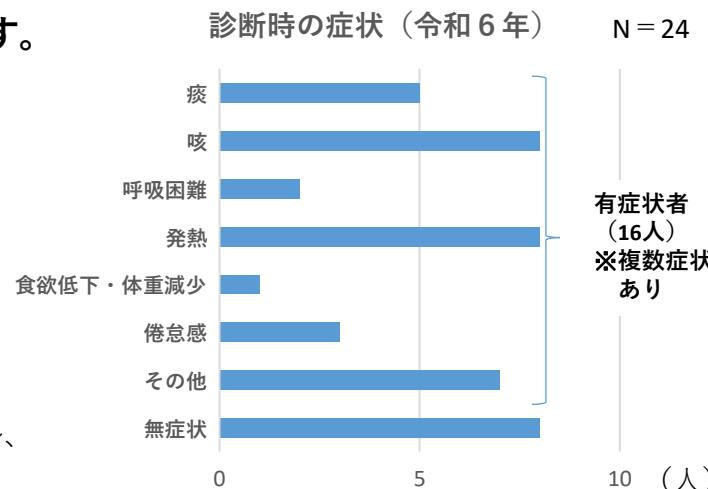
～結核は早期発見が大切！！～

早い段階（排菌前）で結核の発病が発見出来れば、人への感染を防ぐことが出来ます。

①有症状時の受診の勧奨をお願い致します。

結核を発病すると、咳や痰、発熱など風邪によく似た症状が出ると言われていますが、下関市においても同様の傾向です。結核の高蔓延国※出生の方は、入国前に結核に感染している可能性もあります。学生（実習生や労働者等）の方で、せきやたん、微熱が2週間以上続くなど体調が悪そうなときは、受診の勧奨をお願い致します。

※フィリピン、ベトナム、インドネシア、ネパール、中国、ミャンマー等



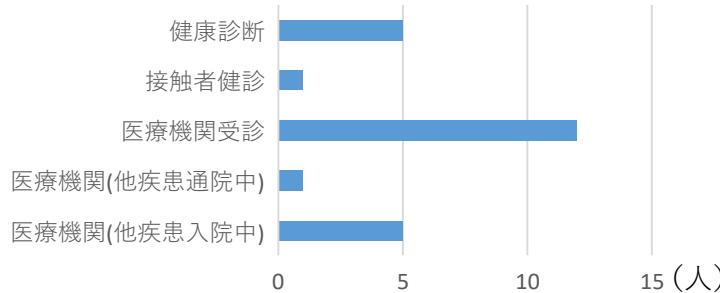
②健康診断（胸部X線検査）の受診をお願い致します。

令和6年の患者発見方法のうち、下関市では健康診断（胸部X線検査）が全体の約2割を占めています。

感染症法により、結核を発病した場合、感染を蔓延させる恐れが高い集団・職種を対象に、年に1回結核定期健康診断を受けることが義務付けられています。

結核定期健康診断が義務付けられている学校や事業所等は必ず健康診断（胸部X線検査）の受診及び市への報告をお願い致します。

患者発見方法（令和6年） N = 24



症状がなくても、胸部X線検査で結核が発見されることがあります。
結核の早期発見・感染拡大防止のために定期的な胸部X線検査の受診が大切です。



シールぼうや

③精密検査受診の勧奨をお願い致します。

結核定期健康診断の対象機関において、精密検査を受診されている方が多数ですが、中には受診されていない方もいます。結核の発見が遅れることで、集団感染に繋がる可能性があります。精密検査の対象となった場合は速やかな受診をお願いします。

精密検査対象の学生（実習生や労働者等）への対応に関するお願ひ

①健康診断の結果は速やかに学生（実習生や労働者等）へご返却下さい。

外国生まれの方は、漢字で書かれた健診結果を読めないこともあります。精密検査の受診が遅れてしまう可能性があります。健診結果を分かりやすく伝えていただけますと助かります。

②速やかな医療機関受診の勧奨をお願い致します。

医療機関の予約や受診が自身で難しい方には、サポートをしていただけると助かります。